

平成 26 年度事業計画の件

本事業計画は定款第 38 条により平成 25 年度第 5 回理事会で承認され、内閣府に 3 月 27 日に届け出たものであります。届け出後に確定した日程等を加筆してあります。

公益社団法人日本栄養・食糧学会 平成 26 年度（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）事業計画

<基本方針>

公益社団法人に相応しい社会に貢献する学術法人として、理事会が中心となって、目的とする公益事業推進のための体制を構築し、維持し、改革を進める。

学会運営としては、更なる公益事業の推進と財政基盤の安定化のため、税法上の特定公益増進法人であることを生かし、各事業における収入源を確保していく。

公益目的事業の展開のうち、まず栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業として以下を行う。第 68 回年次大会を札幌市・江別市において開催する。昨年度大会に引き続き、講演要旨を Web 公開、新入学生会員の負担軽減による学生会員の活性化など、参加者の利便性を高める。また、支部大会およびシンポジウム等を各支部における相応しいテーマ、効率のよい開催方法のもとに関連学会とも連携を図りつつ開催する。

国際的活動については、平成 27 年に当会が主催する第 12 回アジア栄養学会議（12th ACN2015）開催の前年度にあたるのでプログラム、資金調達等の直前の準備を遺漏なきよう進め、演題登録、参加登録などの業務を開始する。また、第 22 回国際栄養学会議（22nd ICN2021）の東京での開催が昨年決定したことを受けて、日本学術会議および他学会等との連携のもとに計画的に準備を進める。12th ACN2015 および 22nd ICN2021 の成功を目指し、各国の関連学会との連携を強化する。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業の展開については、学会誌、欧文誌の刊行を通して人々の健康・福祉の向上に寄与する。日本栄養・食糧学会誌の定期的刊行を継続するが、学会誌編集業務のさらなる効率化を図る。欧文誌 JNSV においては、日本ビタミン学会と協議しながら編集業務を進め、欧文誌としての更なる国際化を図るとともに、会員に購読協力を呼びかけ、採算基盤の強化を図る。

これら事業展開は、各委員会により効率よく進めるものとする。

公益目的事業を維持しつつ新制度に対応していくために、あり方検討委員会の活動を強化し、当学会の今後の進路を明確にする。また、利益相反（COI）委員会で、当学会に相応しい COI 制度の検討を進展させ、実施を目指した制度設計を図る。

新たに日本栄養・食糧学会技術賞を制定し、第 69 回大会より授賞するとともに、産官学連携の一層の充実を目指す。

以上の基本方針のもとに、下記事項を推進する。

I 学会運営および会員サービスの更なる基盤強化

- 1) 公益法人認定法に基づく公益事業推進体制の充実
- 2) あり方検討委員会答申による学会運営の改善
- 3) 日本栄養・食糧学会技術賞の制定と、産官学連携の強化
- 4) 当学会に相応しい利益相反（COI）体制の検討と実施
- 5) 寄付金の積極的受け入れと、寄付金税額控除法人申請準備
- 6) 新入学生会員の負担軽減措置の実施と、学生会員の活性化
- 7) 大会講演要旨集の Web 公開の定着

II 各種事業活動の推進

<栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公 1）>

1) 大会事業の推進

(1) 第 68 回日本栄養・食糧学会年次大会の開催

会頭 原 博 北海道大学大学院教授

期日 平成 26 年 5 月 30 日（金）～6 月 1 日（日）

会場 北海道札幌市：札幌市教育文化会館（5 月 30 日 社員総会、受賞講演）酪農学園大学（5 月 31 日・6 月 1 日 学術講演）

北海道大学学術交流会館（6 月 1 日 市民公開講座）

①特別講演 2 題

②教育講演 6 題

③国際シンポジウム 6 題

④シンポジウム 12 テーマ

⑤サテライトシンポジウム 1 テーマ

⑥市民公開講座

期日 平成 26 年 6 月 1 日（日）

(2) 支部事業（発表・講演会・シンポジウム等）の推進

①北海道支部

- i) 第44回日本栄養・食糧学会北海道支部大会
期日 平成26年11月1日(土)
会場 北海道大学大学院農学研究院
- ii) 講演会、シンポジウム
期日 未定
会場 未定

②東北支部

- i) 第48回日本栄養・食糧学会東北支部大会
期日 平成26年11月1日(土)
会場 東北大学大学院農学研究科
- ii) 公開シンポジウム
期日 平成26年11月1日(土)
会場 東北大学大学院農学研究科

③関東支部

- i) 第94回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム
期日 平成26年9月中旬予定
会場 未定
- ii) 第17回脂質・栄養シンポジウム
期日 平成27年1月中旬予定
会場 未定
- iii) 第95回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム
期日 平成27年2月中旬予定
会場 未定

④中部支部

- i) 第66回日本栄養・食糧学会中部支部大会
期日 平成26年7月12日(土)
会場 静岡県立大学
- ii) 第67回日本栄養・食糧学会中部支部大会
期日 平成26年11月22日(土) 予定
会場 静岡県立大学

⑤近畿支部

- i) 第53回日本栄養・食糧学会近畿支部大会
期日 平成26年10月25日(土)
会場 京都府立大学 新教養教育共同化施設(稲盛記念会館)
- ii) 市民公開講座
期日 平成26年10月25日(土)
会場 京都府立大学 新教養教育共同化施設(稲盛記念会館)
- iii) 第5回栄養学をめざす若手のためのフォーラム
期日 平成26年12月初旬予定
会場 京都市予定
日本栄養改善学会近畿支部共催

⑥中国・四国支部

- i) 公開講演会
期日 平成26年6月～8月の土曜日
会場 広島女学院大学または鯉城会館
- ii) 第47回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会
期日 平成26年11月予定
会場 未定

⑦九州・沖縄支部

- i) 第68回日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会
期日 平成26年10月11日(土)、12日(日)
会場 熊本県立大学

- ii) 公開市民フォーラム「食べ物と健康を考える」
期日 平成 26 年 10 月 11 日 (土)
場所 熊本県立大学

2) 表彰事業の推進

- (1) 平成 26 年度表彰授与式開催 (平成 26 年度総会時)
功労賞 2 件、学会賞 3 件、奨励賞 3 件
- (2) 平成 27 年度対象各賞選考の実施
各種授賞等選考委員会開催 (平成 26 年 12 月)
功労賞 3 件以内、学会賞 3 件以内、奨励賞 3 件以内の推薦
- (3) 外部団体への授賞推薦の推進
年間スケジュールの公開と更新の実施
- (4) 日本栄養・食糧学会技術賞制定

3) 助成・助成推薦事業の推進

- (1) 支部大会事業活動の支援
- (2) 基金交付対象の選考の推進
- (3) 外部団体への助成推薦の推進
学会誌等へ掲載しその公示をタイムリーに行う。

4) 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

- (1) 栄養成分表示・栄養教育の検討
諸外国 (含む地域) における栄養成分表示の現状・動向を調査する。
- (2) 栄養・食糧学用語に関する検討
用語辞典第二版作成

5) 国際交流事業の推進

- (1) 第 12 回アジア栄養学会議 (12th ACN2015) の準備
組織委員会を中心に各小委員会の活動を進め、プログラム、会場、後援・協賛団体への働きかけ等の開催前年度の準備作業を着実に実施する。
(株)ICS コンベンションデザインとの契約に基づき平成 26 年度分の業務委託をする。
演題登録、参加登録等を公表スケジュール通りに開始する。
- (2) International Union of Nutritional Sciences (IUNS) 関係
IUNS 会長を第 68 回大会シンポジウムに招聘する。
IUNS 理事会との連携を密にする。
日本学術会議 IUNS 分科会と連携し、第 22 回国際栄養学会議 (22nd ICN2021 東京) の準備体制、計画を策定するとともに、第 21 回会議 (21st ICN2017 アルゼンチン) で求められる状況報告も含め、準備を開始する。
- (3) International Union of Food Science and Technology (IUFoST) 関係
IUFoST Japan と連携しその事業を支援する。
- (4) 海外関連学会との連携
米国栄養学会 (ASN) との MOU を締結し、第 68 回大会シンポジウムに同学会会長を招聘する。
国際学術団体との連携を図る。

6) 倫理審査事業の推進

- (1) 迅速な審査体制の確立と実施

< 栄養科学並びに食糧科学の情報の活用推進と普及事業 (公 2) >

1) 出版事業の推進

- (1) 日本栄養・食糧学会誌の刊行
第 67 巻 2 号～6 号、第 68 巻 1 号を定期的に刊行する。
- (2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology (JNSV) の刊行
日本ビタミン学会との共同編集で、Vol. 60-No. 2～No. 6、Vol. 61-No. 1 を定期的に刊行する。
各国の関連学会との連携を強化しつつ、欧文誌としてさらなる国際化を図る。

2) 広報事業の推進

- (1) 会員向けメールマガジン栄食ニュースの充実と定期発信
- (2) 関連学術団体、関連機関との連携及び依頼記事の広報推進
- (3) 新役員体制に基づくホームページの刷新と告知・掲載記事に関し、確実、迅速な更新の実施

Ⅲ 総会、理事会等の開催（予定）

1) 定例社員総会	定例社員総会	平成 26 年	5 月	30 日	(金)
2) 理事会	第 1 回理事会	平成 26 年	5 月	03 日	(土)
	第 2 回理事会	平成 26 年	5 月	29 日	(木)
	第 3 回理事会	平成 26 年	8 月	2 日	(土)
	第 4 回理事会	平成 26 年	10 月	18 日	(土)
	第 5 回理事会	平成 27 年	1 月	24 日	(土)
	第 6 回理事会	平成 27 年	3 月	21 日	(土)
	臨時理事会	平成 26 年	5 月	30 日	(金)
3) 業務執行理事打合せ	第 1 回業務執行理事打合せ	平成 26 年	6 月	14 日	(土)
	第 2 回業務執行理事打合せ	平成 26 年	7 月	19 日	(土)
	第 3 回業務執行理事打合せ	平成 26 年	10 月	11 日	(土)
	第 4 回業務執行理事打合せ	平成 27 年	1 月	10 日	(土)
	第 5 回業務執行理事打合せ	平成 27 年	3 月	7 日	(土)
4) 栄養・食糧懇談会		平成 26 年	4 月	5 日	(土)
5) 名誉会員・終身会員推薦委員会		平成 27 年	1 月	10 日	(土)
6) 名誉会員・顧問懇談会		平成 26 年	4 月	5 日	(土)
7) 各支部の参与会		支部大会にて			

Ⅳ 委員会活動

1) 常置委員会

①各種授賞等選考委員会	(規程により委員は非公開)
②学会活動強化委員会	(委員長 池田 郁男)
③倫理審査委員会	(委員長 田中 明)
④広報委員会	(委員長 金本 龍平)
⑤国際交流委員会	(委員長 下村 吉治)
⑥日本栄養・食糧学会誌編集委員会	(委員長 田中 明)
⑦JNSV 誌編集委員会	(委員長 金沢 和樹)

2) 非常置委員会

①栄養成分表示・栄養教育検討委員会	(委員長 山田 和彦)
②第 12 回アジア栄養会議 (12th ACN2015) 組織委員会	(委員長 宮澤 陽夫)

3) 定款第 35 条 2. による委員会

①中央選挙管理委員会	(委員長 未定)
②日本栄養・食糧学会あり方検討委員会	(委員長 近藤 和雄)
③利益相反 (COI) 委員会	(委員長 吉田 博)
④用語委員会	(委員長 松井 徹)